

那須塩原市議会だより

# ぎかいのひととき

9月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

2017.11.5 No.71



## MENU

- 特集……………P 2
- 税金の使い方を確認しました…P 4
- こんなことを審査・調査しました…P 6
- こんなこと聞きました……………P10
- Future……………P20

特集 高校生  
×  
市議会

特集

# 高校生×市議会

那須拓陽高校3年、食品化学科乳加工班の5人から、班の活動や、市議会議員についてお話を伺いました。



照内 優花さん



平山 さくらさん



生天目 莉子さん



前原 優花さん



堀江 唯乃さん



## 「キスマイル」をもっと知ってほしい



議員が那須拓陽高校へ伺いました

※1 キスマイル…那須拓陽高校と市が共同で開発した乳酸菌飲料。水で4～5倍に薄めるとちょうど良い甘さになる。道の駅「明治の森・黒磯」で購入可能。

※2 生乳…牛の乳で加熱処理などを行っていないもの。

**<キスマイル\*に取り組んできて、うれしかったことは何ですか。>**

お客さんに「おいしい」と言ってもらったことです。

拓陽の生乳\*を使って製品ができていくということがうれしかったです。

**<キスマイルについて今後の目標を教えてください。>**

自分たちで作って売って研究費を稼ぐことを目標にしています。

キスマイルを置いてくれるお店をもっと増やして、実習でももっとたくさんのキスマイルを作って、売り上げも伸ばしたいです。

**<キスマイルを使ったレシピでおすすめの物を教えてください。>**

私は牛乳の代わりにキスマイルを使ったクッキーが好きです。

水で割って飲むのが好きです。

**<皆さんが市民に伝えたいことを聞かせてください。>**

オリジナル製品なので多くの人に知ってもらい、飲んでもらいたいです。那須塩原市が生乳生産本州1位ということも、キスマイルを飲んでくれる人たちにも知ってもらいたいです。

キスマイルは飲むだけではなくいろいろな使えます。それを知っても

## 「市議会議員って近寄りがたいイメージがありました。」(笑)

らうために飲んでくれた人が周りに広げてくれるような活動をしていきたいです。

**<後輩に託していきたい思いがあれば教えてください。>**

実習を行っていくうちに製品になる物を自分たちが作っているということを実感するようになりました。後輩にも自分たちがキスマイルを広めるんだという気持ちをもって取り組んでもらいたいです。

**<将来はどんな職業に就きたいとありますか。>**

栄養系の学校に進学するので、将来は管理栄養士になりたいと思っています。

**<これから市に求めることがあればお聞かせください。>**

市の方々のおかげで、牧場の見学なども出来たので続けてもらえれば、キスマイルを作る上でも、牧場の仕組みなどが理解できて良いと思います。学校給食でキスマイルを使ってくれたらうれしいです。

**<良いですね。>**

**<市議会議員にどのようなイメージを持っていますか。>**

近寄りがたいイメージがありましたが、今日お話しできて、とても面白くて優しい方々なんだと思いました。

議会でのイメージしかなくて、それ以外では何をやっているのか

など思っていました。

接する機会がないので、イメージもありませんでした。

**<これからこの地域、自分の故郷がどのようになっていったら良いと思いますか。>**

若者としては都会にあこがれるところもあるのですが、田舎も好きなので、田舎の田園風景も大切にしてもらいたいです。



# 税金の使い方を確認しました

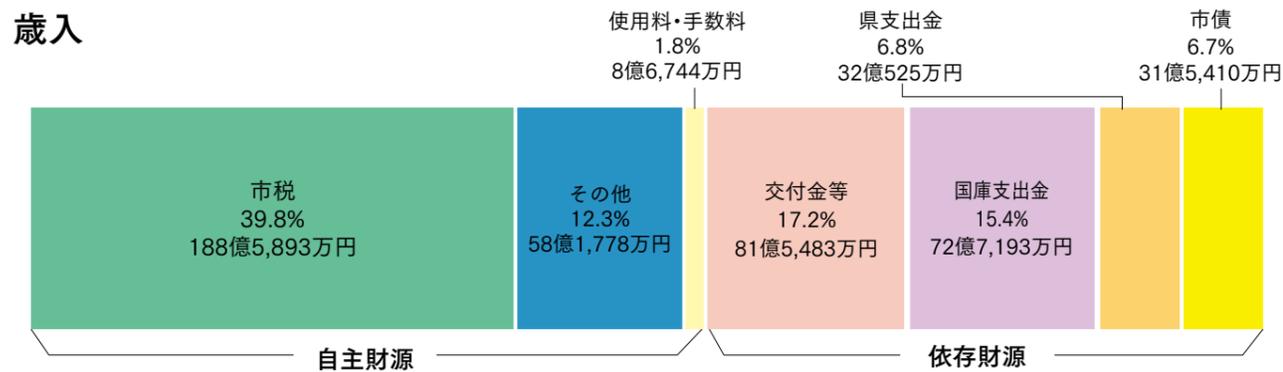
一般会計・特別会計  
歳入歳出決算  
総額712億円を認定

一般会計、特別会計、水道事業会計の9会計における歳入歳出決算について審査を行いました。  
予算執行状況や行政効果の確認などを基本に審査した結果、各会計のいずれも適正に処理され、財産管理および基金管理運用等についても、良好な執行を確認し、9会計すべて認定すべきものとなりました。  
一般会計における決算は、平成27年度比、歳入歳出ともに5.1%減となっています。  
特別会計では、歳入で1.2%増、歳出で0.9%減となっており、すべての会計において黒字決算となっています。  
使い道について、一部を次のページで紹介します。

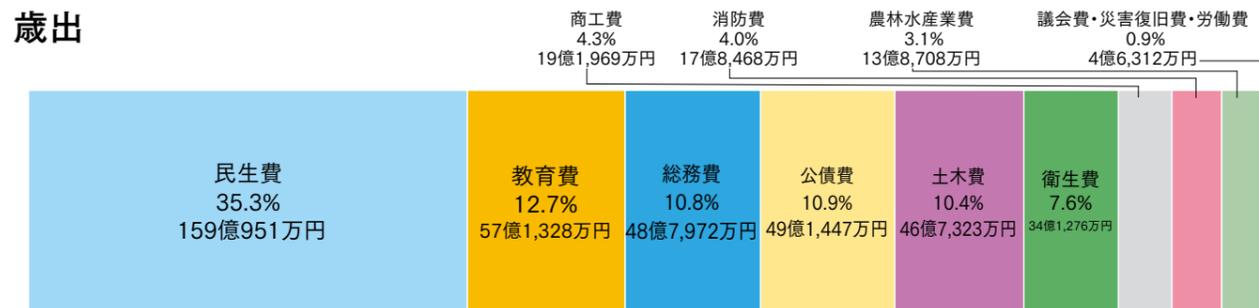
## 一般会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	473億3,026万円	450億5,754万円	22億7,272万円

## 歳入



## 歳出



## 特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	157億6,756万円	149億2,029万円	8億4,727万円
後期高齢者医療特別会計	9億8,231万円	9億6,042万円	2,189万円
介護保険特別会計	77億9,954万円	71億9,828万円	6億0,126万円
下水道事業特別会計	30億0,302万円	29億5,828万円	4,474万円
農業集落排水特別会計	1億1,582万円	9,994万円	1,588万円
温泉事業特別会計	7,175万円	5,288万円	1,887万円
墓地事業特別会計	668万円	382万円	286万円
合計	277億4,668万円	261億9,391万円	15億5,277万円

## 水道事業会計

項目	金額	項目	金額
収益的収入	28億3,272万円	収益的支出	24億7,490万円
資本的収入	4億1,327万円	資本的支出	14億7,540万円

## 総務費 48億7,971万円



地方創生地域間連携事業	1,507万円
地域活性化事業	761万円
結婚対策事業	486万円
広域公共交通推進事業	2,326万円

## 民生費 159億950万円



発達支援システム事業	1,462万円
子ども・子育て支援事業	3,265万円
子育て応援券事業	6,020万円
放課後児童対策事業	2億4,170万円

## 教育費 57億1,327万円



小学校エアコン整備事業	4,464万円
小中学校 ICT 事業	1億6,160万円
共英学校給食共同調理場改築事業	3,440万円

## 商工費 19億1,969万円



商イベント推進事業	3,378万円
創業支援事業	208万円
観光振興推進費	1億4,541万円
観光宣伝事業	1,150万円

## 決算についてこんなことを確認しました

(一部抜粋)

**問** 定住促進広域連携プロモーション事業について、具体的にどんな事業を行ったのか。

**答** キャッチフレーズの策定や、小山市との移住・定住促進宣言セレモニー等事業の実施、東京でのパンフレットの配付、「南都」・「北都」移住・定住促進戦略の策定を行った。

**問** 発達支援システムと教育の連携はどのようにしているのか。

**答** 校種が変わった場合には、連携支援会議という形で関係者が集まり、機械(コンピュータシステム)に入っている情報を渡すのではなく、人から人へきちんと情報を渡していく流れになっている。

**問** 商イベント推進費で500万円が減額となった大きな理由として、巻狩まつりの内容が10周年記念から通常どおりに戻ったとあるが、内容について伺う。

**答** 減額となった内容は、ラジオの特番事業の委託費用、福島県古殿町から流鏝馬を招へいた費用が減額となった大きな理由。

## こんなことを審査・調査しました

### 総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税、など  
 【委員】◎齊藤誠之○吉成伸一、田村正宏、小島耕一、森本彰伸、鈴木伸彦、高久好一、君島一郎、玉野宏

問 西那須野支所総務税務課の審査について、今回の空調の修繕についても当初予算で計上する考えはなかったのか。

答 今回の空調設備の故障については、当初予算要求時点では発見されていなかったため、今回補正予算となった。

問 まちづくり大使は何名で、だれに依頼するのか。

答 芸能界、スポーツ界、文化界で8名を予定。

問 新庁舎整備基金積立金が6億円とのことだが、これまでのものを含めて現在の積み立て額はいくらか。

答 今回の補正額を合わせて34億7,375万9,000円になる見込みである。

審査の結果、全員異議なく、原案のとおり「可決すべきもの」と決した。

#### 審査議案

平成29年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

平成28年度決算に伴う繰越金の整理等による予算処置を行うもの。

後期高齢者医療特別会計補正予算額（単位：千円）

補正前予算額	補正額	補正後予算額
969,658	21,938	991,596

執行部からの説明の後、委員からは、特に質疑等はなく、全員異議なく、原案のとおり「可決すべきもの」と決した。

### 福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど  
 【委員】◎佐藤一則○星宏子、山形紀弘、相馬剛、平山武、大野恭男、金子哲也、山本はるひ、中村芳隆

問 ヘルプカードの対象者数は何人か。

答 障害者、高齢、妊娠している人などを合わせて、3,000人程度と予想している。

問 保健衛生総務費の補助金について、国から一定の割合による特別交付税として措置との事だが、割合はどの程度か。

答 那須赤十字病院40.1%、国際医療福祉大学病院が49.4%、菅間記念病院が51.9%の負担割合となっている。

#### 平成29年度那須塩原市介護保険特別会計予算

問 基金の積立金について、繰越金のうちどのくらい積立金にするという割合の決まりはあるのか。

答 繰越金、積立金のバランスを考慮して、28年度分については各種償還金、一般会計への繰出し金、必要経費を差し引いた、余剰金を積み立てるものとなっている。

問 児童扶養手当費について不足額が見込まれる事になった理由は制度改正でよいのか。

答 受給者数は、横ばいであり、この改正によって不足額が生じていると判断している。

#### 管内所管事務調査に行ってきました

9月21日、西那須野学校給食共同調理場、黒磯学校給食共同調理場および平成30年度オープン予定のくろいそ野球場の現地視察を行いました。



### 建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など  
 【委員】◎松田寛人○齋藤寿一、中里康寛、星野健二、櫻田貴久、伊藤豊美、眞壁俊郎、相馬義一

問 下水道事業の公営企業会計適用事業の内容は。

答 平成31年4月から下水道事業会計を公営企業会計に移行する。平成28年度は関連例規の準備や基礎調査で一番重要な資産調査を実施した。平成29年度も引き続き作業を行い、平成30年度は現行会計システムと並行して利用する。

問 中小企業融資預託事業の平成28年度の実績は。

答 おおむね6割程度の資金の貸し付けが実行されている。平成29年1月末現在の累計実績で貸付件数1,246件、金額としては約27億円の貸し付け実行となっている。

問 屋外広告物景観形成推進費の増額補正について本市の屋外広告物条例が平成27年10月1日に施行されたが、不適合となった広告物は。

答 不適合広告物が平成26年度時点で162基。平成28年度末、改修が48基、撤去が8基完了している。

問 赤川線橋梁応急工事の内容は。

答 橋梁点検において、老朽化が進んでいることから早急な修繕が必要との判断になった。下部工、橋脚部分の基礎が洗堀により損傷および腐食している状況だが、必要最小限の修繕で対応が可能という事から、応急対策工事を行うもの。

問 水道事業経営戦略について、おおむね2年ごとに行う進捗管理は、水道課で検証チームを組織し行うのか、または第三者機関で行うのか。

答 本戦略の財政計画においては、水道課総務係が常に数字の把握をしている。また、ビジョンに定めた事業は、課内各係の業務において進捗管理を行っていく。水道課において経営戦略との整合をよく確認し検証してまいりたい。

### 議会運営委員会

【委員】◎吉成伸一○相馬剛、森本彰伸、佐藤一則、大野恭男、鈴木伸彦、齋藤寿一、中村芳隆

10月19日、議会運営委員会主催の研修会が行われ、龍谷大学政策学部の土山希美枝教授が「議会における質問のあり方～質問力で高める議会力～」をテーマに講演を行いました。

他議会の事例を交えた研修であり、一般質問での執行部の答弁においては、結果をしっかりと追及することなど、大変参考になる研修会となりました。



### 放射能対策検討特別委員会

【審査分野】放射能対策に関すること  
 【委員】◎星宏子○平山武、田村正宏、小島耕一、森本彰伸、佐藤一則、星野健二、眞壁俊郎、相馬義一

9月14日、放射能対策検討特別委員会において現地視察の実施および講演会を開催しました。

市内に保管してある指定廃棄物の保管状況を確認するため、黒磯水処理センター、鳥野目浄水場、那須塩原クリーンセンターおよび稲わら等の保管場所を訪れ、担当部署の職員から説明を受けました。

また、那須塩原市放射能対策アドバイザーの鈴木元氏（国際医療福祉大学クリニック院長）を講師として招き、「放射能の健康への影響と今後の対策について」をテーマに講演会を開催しました。







那須塩原クラブ  
伊藤 豊美議員



334号線の整備促進について

問 都市計画道路334号線の整備について伺う。

答 市長 私の公約でもあり、地元から要望も受けている。できるだけ早く道筋をつけるため、市としても必要な取り組みを今後進めていく。

問 過去には整備計画から一時外れてしまったこともあったが、今回、地元の人たちが立ち上がり、東那須野地区環境を考える会15名が、334号線の予定地の草刈りを行ったほか、予定地 5,000㎡のうち、北側 1,000㎡にコスモスの種をまいた。東那須野地区自治会長会 27名も 334 号線東那須野東通り早期着工に関する要望書を市長に提出した。アンダー予定地南側の地権者も、当初計画から 44年も経っている 334号線の早期着工を要望するとともに、4 号線との接続に際し協力したいとの要望書を市長に提出をした。ここで改めて整備促進について市長の考え方を伺う。

答 市長 この 334号線については、私のライフワークでもある。ぜひともこれは実現させなければならないという路線である。この 334号線の整備に関しては那須塩原駅をより効率的にかつ広域的に活用するために不可欠な路線ということで捉えており、この整備に関しては何らかの形で整備が実現できるように、これからも努力をしていきたい。

新南・下中野線について

問 新南・下中野線の進捗状況について伺う。

答 市長 平成28年度末時点の進捗状況は、工事完了延長が507m、用地取得面積が2万2,079㎡、事業費ベースで22%の進捗率となっている。



公明クラブ  
吉成 伸一議員



市民の声を活かしたまちづくり

問 市長の政治指針である市民の声を大切に受けとめ、公平・公正で市民優先の市政運営を行うためには、羅針盤が必要であり、「(仮称) 那須塩原市まちづくり条例」を制定してはどうか。

答 市長 第2次那須塩原市総合計画については、策定経過において市議会における総合計画審議会審査特別委員会を初め総合計画審議会やパブリックコメント、市民アンケートなど多くの市民の貴重な意見、提言を反映した。市民との協働により本市の将来像を描き、夢を共有できる、本市のまちづくりの羅針盤としての計画が策定できたと思っている。提案の「まちづくり条例」については、第2次総合計画に掲げたまちづくりの基本理念や将来像の中で相通ずる思いをうたい込んでおり、今後の検討課題とさせていただく。

さまざまな役割を担っている保健師の活用について

問 保健師を生活保護担当部署に配属し、健康相談、薬の服用指導など速やかに対処できるようにしてはどうか。

答 市長 現在、生活保護受給者の健康管理については、担当ケースワーカーが必要に応じて他の部署の保健師と連携を図りながら支援をしており、現在のところ配置する考えはない。

問 不登校、精神疾患、引きこもり、子どもの貧困、虐待など子育て環境の改善等に、保健師を活用してはどうか。

答 市長 保健師の専門性はさまざまな分野で求められており、本市においては保健師間の情報共有、連携等に努めていきたいと考えている。



志絆の会  
眞壁 俊郎議員



大規模太陽光発電施設について

問 大規模太陽光発電施設の設置については、良好な環境保全の確保やトラブル防止のために何らかの対策が必要であると考えている。国のガイドラインおよび本市の条例等の制定について伺う。

答 市長 国のガイドラインは、事業の企画立案から設計施工、運用管理、撤去および処分について、発電事業者に対する遵守事項や奨励事項について記載したものとなっている。市としては、国が推奨する事項である地域との共生や環境への配慮等を確実に実施していくことが重要であると考えている。市独自のガイドラインを今年度中に策定をしていく予定であり、今後このガイドラインの目的である地域との共生、適切な立地誘導および発電設備の維持管理を確実に実施するために、条例等の制定を検討していきたい。

市長の市政運営について

問 市民優先の市政運営について伺う。

答 市長 「人が基本」という視点に立ち、公約である子ども・子育てに対する支援を初め高齢者の外出支援、快適な教育環境の整備など市民優先のまちづくりを進めてきた。今後についても、第2次那須塩原市総合計画に掲げる市の将来像の実現に向け、これまで同様市民優先を基本として、ライフステージに応じた健康づくりや妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援、快適な教育環境の整備など引き続き取り組んでいきたい。



フロンティアなすの  
齋藤 寿一議員



塩原温泉と板室温泉の観光振興について

問 プレデスティネーションキャンペーン\*の実施内容と実績について伺う。

答 産業観光部長 観光客を中心に地元の食によるキャンペーン「いちごとみるくフェア」、「朝食イッピン物語」をメインに展開した。旅館や飲食店、農業団体等と連携した取り組みにより、継続可能な地域商品のベースができたと考えている。

問 来年本番を迎えるデスティネーションキャンペーンの予算を含めた計画等について伺う。

答 産業観光部長 新たに2つの食のキャンペーンと周遊バスツアーの実施を関係者と協議をしているところである。プレDCの検証を踏まえ、JR各駅でのPRキャラバンについては時期を早め、回数も増やしていく予定である。

くろいそ運動場野球場について

問 工事の進捗状況は。

答 教育部長 8月末の工事の進捗状況は45%となっており、現在観覧席の建設を行っている。

問 どのような設備ができていますか。

答 教育部長 防球ネットの支柱、グラウンド内の排水、外周の擁壁がおおむね完了している。

問 野球場を使用できる時期はいつごろを想定しているのか。

答 教育部長 工期は3月末だが天然芝を張るため養生期間がある。実際に稼働できるのが9月ごろを予定している。

問 来年度オープンするに当たり、オープニングイベント等の考えは。

答 教育部長 今後検討をしていきたい。





佐藤 一則議員



子どもの貧困解消対策は

問子どもの貧困率の現状と推移について伺う。

答子ども未来部長 確かな数字はないが、就学援助制度の認定人数が毎年増加していることから貧困の状態にある子どもは増加していると考える。

問就学援助費の推移について伺う。

答教育部長 平成26年度が792名で約6,000万円、27年度が896名で約7,100万円、28年度が981名で約7,500万円と年々増加している。

問ひとり親家庭の自立支援の施策について伺う。

答子ども未来部長 自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業、高等学校卒業認定試験合格支援事業の3事業があり、その事業により看護師、准看護師や理学療法士の資格を取得し就業に繋がっている。

問ひとり親等の交流促進事業について伺う。

答子ども未来部長 那須塩原市母子寡婦福祉連合会という団体があり、フラワーアレンジメント教室や食事会等の交流会で孤立防止になっている。

問児童扶養手当の具体的内容について伺う。

答子ども未来部長 離婚等で父または母と生計を別にしている児童を監護している方に支給される手当で、月額45,000円から9,980円の範囲で決定され、2人目、3人目がいれば加算される。

所有者不明土地の対策は

問固定資産税の損失額について伺う。

答総務部長 相続人の不存在的土地は、平成28年度で55人、162筆、286万円になる。

問本市として解消する方策について伺う。

答市長 各自治体が対応を図れるように、我々も国などに対して早急に要望していきたい。



山形 紀弘議員



公衆無線LANの設置について

問公衆無線LANの整備について伺う。

答企画部長 昨今、スマートフォン、タブレット端末などの情報通信機器が急速に進展している状況がある。公衆無線LANの設置は、市民はもちろんのこと観光客などのインターネット利用者の利便性の向上、さらには災害時の通信手段の確保といった点で大変意義があると考えている。庁内で今後のあり方、どういう考え方に基づいて設置していくか早急に検討していきたい。

(仮称)まちなか交流センターについて

問(仮称)まちなか交流センターの概要について伺う。

答市長 基本コンセプトを「人と食を育む交流の家」として、地域の食材や特産品紹介、販売促進、地元起業志望者支援、文化芸術活動振興等を通じ交流を活性化し、人々が集い、語らい、くつろぎ、成長できる空間を目指している。施設概要は鉄骨づくり平屋建て、床面積は、本館1,097㎡、倉庫棟36㎡で、飲食店コーナー、マルシェが行える屋内広場、芸術活動等の発表展示スペース、音楽演奏等のステージ、防音を施した音楽室、屋内で遊べるキッズエリアのほか、工作室や調理室なども備えている。

問将来的にはどのような管理運営を目指しているのか。

答産業観光部長 当面の間は、市が運営するが、その後組織を育成と支援をしながら、地元の方々に携わってもらいたいと考えている。



田村 正宏議員



教員の働き方改革を切望

問時間労働による過労死事件や社会の構造変化に伴う人手不足に起因する民間企業の働き方改革は、人々の関心も高く、官民挙げて様々な施策が講じられている。一方、公務員、中でも公立学校の教員について本市としての見解を伺う。

答市長 本市においても、教職員の働き方改革については喫緊の課題であると認識している。

問長年のずさんな勤怠管理システムが長時間勤務の一因であり、勤務実態の適切な把握が教職員の働き方改革にとって最優先課題の一つだと思うが見解を伺う。

答教育長 きちんとした勤務管理が長年にわたって学校現場でおろそかになっていたこととは否定できない事実である。10月以降、試行的にパソコンを利用した教職員一人一人の勤怠管理を実施するための準備を現在進めている。

問今年4月に、文科省は学校教員の負担を減らすために、外部人材でも部活動の指導ができる部活動指導員を制度化したが、本市も積極的に制度を利用する必要があると思うが見解を伺う。

答教育長 教職員の負担軽減に一定の効果があり、当然のことながら前向きに検討していく。

問次代を担う子供たちの教育に携わる小中学校の教職員が健康で人間らしく働くための働き方改革は、市の将来のためにも大変に重要であると思うが見解を伺う。

答教育長 教職員の働き方改革については、学校・教育委員会だけでなく、保護者や地域の方々の理解を得ることも大切であり、今後、連携を深め対処していく。



星 宏子議員



女性視点の防災対策を

問「女性視点の防災ブック」の作成を伺う。

答総務部長 女性の視点に特化した防災ブック等の作成をする計画はないが、災害時に持ち出すものは男性と女性それぞれ違うと認識をしている。今後、防災に関する啓発の資料等を作成する際に、女性の意見や年代別の意見を参考にし、男女共同参画も含めて総合的につくっていくのが、より効果的だと認識している。

問女性防災リーダーの育成について伺う。

答総務部長 今後の研修等で、女性の参加について積極的にかかわってくださるようお願いをしていく。

問災害対応型マンホールトイレ設置について

答総務部長 具体的な計画はない。

AEDのさらなる設置と普及について

問公共施設のAEDの屋外設置を伺う。

答保健福祉部長 AEDの屋外設置は、機器の維持管理や盗難対策等の課題があり、現在、庁内において市有施設全体で設置のあり方、屋外設置の考え方について整理しているところである。

問民間施設が所有するAEDを利用者以外の市民への貸出しについて連携の考えを伺う。

答保健福祉部長 民間施設が所有するAEDは、一般財団法人日本救急医療財団のホームページに設置状況が公開されており、それらの情報の効果的な利用と民間施設との連携について研究していく。





齊藤 誠之議員



中小企業のために条例の制定を

問 小規模企業振興基本法が施行され、基本計画が作成されたことを受け、栃木県では中小企業の果たす役割とその重要性を認識し、栃木県中小企業・小規模企業の振興に関する条例を制定している。本市においても市の特性に応じた基本理念を定め、条例を策定することで、地域経済を支える中小企業並びに小規模企業者に対する支援を明確にしていくことが重要であると考えているが、改めて本市の条例制定に関する考えを伺う。

答 市長 中小企業等の振興発展については、さまざまな施策を展開しており、今後も地域経済の持続的発展や中小企業の支援等を推進していく。条例については、中小企業等の振興に取り組む本市の姿勢を明確にするものであると考えているので、第2次総合計画に掲げた施策の着実な推進を図っていくため、制定に向けた関係者との連携協議を進めていく。

地域の安全を守るために防犯カメラの設置を

問 防犯カメラの設置に関する市の考えを伺う。

答 生活環境部長 市内全体の犯罪状況を見ますと、犯罪認知件数は減少傾向にあるので、現時点では市が防犯カメラを設置する予定はない。しかしながら、例年各自治会から防犯カメラの設置や設置補助の要望があるので、地域の不安解消に努める必要があることから、設置補助などの支援制度について検討していきたいと考えている。



森本 彰伸議員



学力の向上に向けて

問 小学生、中学生の学力向上に向けての課題は。

答 教育長 ①基礎的な知識・技能②これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力およびその他の能力③主体的に学習に取り組む態度といった3つの要素をバランスよく伸ばしていくことが課題であると考えている。

問 主要教科においては、個々の習熟度に合わせたクラス分けをすることもきめ細やかな指導につながると思うが、本市の考え方は。

答 教育長 習熟度別に分けることにより学びのスピードが同じ程度の仲間と一緒に集団となることで、子どもたちは心理的な安心感を持って学習することができると思う。学習内容の理解に時間がかかる児童生徒はじっくりと学ぶことができ、基礎・基本の定着が図られる。学習内容の理解が早い児童生徒には、さらに深い学びを行うことができるようになる。今後も学校の状況に応じて習熟度別指導を取り入れるよう指導していきたい。

災害時の避難行動要支援者への救護

問 避難行動要支援者のうち何名が同意者名簿に記載されているのか伺う。

答 市長 9月5日時点で個人情報の提供に同意した人は、高齢者でかつ障害者など重複する方を除き、7,591名のうち3,810名で、全体の50.2%となる。

問 避難行動要支援者への避難訓練の状況は。

答 市長 市地域防災計画に基づき実施している。総合防災訓練において、避難行動要支援者への支援を配慮した避難誘導訓練などを行っていく。



中里 康寛議員



結婚サポートセンターについて

問 結婚サポートセンターの目的と運営体制、事業内容について伺う。

答 企画部長 結婚支援を推進するための拠点として市民協働推進課内に設置した。市民および市内在勤者を対象に、市が委嘱をした結婚サポーターを介してのお見合い形式のマッチングや結婚に関する相談支援、結婚に関するセミナー・イベントの開催、結婚支援の情報発信に取り組んでいる。

問 サポートセンターが開設して2カ月となるが、現状での成果、課題、今後の展開について伺う。

答 企画部長 成果は、100名の登録者を得ることができ、また5名のマッチングを実現できた。課題は、男性が7割、女性が3割という中で、男性になかなか女性をマッチングさせてあげることができない状況にあり、今後どのような対応をしていくかである。

答 市長 今後、県の支援センターとのコラボレーションを協議中であり、これを機会に、市内で結婚する人が増えるよう支援をしていきたい。

那須塩原市公共施設等総合管理計画について

問 個別計画の進捗状況について伺う。

答 企画部長 現在、個別計画の策定状況や除却可能な公共施設等の把握に努めている。

問 実施段階の更新費用の平準化について伺う。

答 企画部長 公共施設等の更新費用について、今後の財政運営に大きな負担となることが想定される。施設情報を一元管理するための公共施設マネジメントシステムを活用し、今後の修繕や大規模改修等の予防保全に伴う施設管理費の縮減と更新費用の平準化の検討を進める。



小島 耕一議員



鳥獣被害対策をどうする

問 鳥獣被害の発生状況は。

答 産業観光部長 昨年度の被害金額は6,353万円で高止まりしている。

問 シカ、イノシシの捕獲頭数は。

答 産業観光部長 昨年度のシカ、イノシシの捕獲頭数は388頭になっている。

問 今後の鳥獣被害対策はどのようにするのか。

答 産業観光部長 市内の猟友会に委託して有害鳥獣駆除をおこなっており、今後はとちぎ獣害対策アドバイザー派遣事業を活用し、住民と協力して被害対策をおこなっていく。

問 シカ肉などを利用するため国の補助事業活用はどうか。

答 市長 原発の影響で食品に関しては100ベクレル以下の基準があり、今後クリアできるかどうか担当部局と検討し、関係団体と協議をしていきたい。

園芸作物の振興について

問 園芸振興の成果は。

答 産業観光部長 平成17年に19億9千万円の野菜粗生産額が平成27年に49億円と10年間で2.5倍になった。

問 新規就農者の園芸の取り組みは。

答 産業観光部長 平成26年から28年までの新規就農者は49名で野菜が23名、果樹が5名いる。

問 本市は明治時代に日本一のぶどう産地であったことから、日本一ぶどう産地復活運動を支援してはどうか。

答 産業観光部長 新たな就農者がぶどうに取り組んでおり、市としても支援していきたい。





金子 哲也議員



ALTへの国際交流協会の関りについて

問 全校配置による外国語指導助手(ALT)の関係状況を伺う。

答 教育長 ALTと国際交流協会との交流機会の拡大について、昨年度末に行った意識調査で英語が好きと答えた児童生徒の割合が全国平均を大きく上回った。また、約8割の児童生徒がALTと話すことが好きと答えるなど本市の目指すコミュニケーション力育成重視の英語教育が着実に展開され、ALTとの関係も良好である。

現在ALTと国際交流協会との交流の機会はないが、ALTの活動の場を地域に広げるため、今後どういう形で国際交流協会との交流を拡大できるか、派遣会社との契約上の関係も考慮しながら検討していく。国際交流協会が企画している部分についても、我々の情報をしっかりと得ることが大切であると考えている。

弱者に手を差し伸べる教育について

問 困っている人や弱い立場の人に声をかけ、手を差し伸べる教育について、小学校ではいつ、どこで、どのようにおこなわれているのか。

答 教育長 弱者等へ手を差し伸べる教育については、年間を通して指導教育の推進を中心に他者を思いやる心の教育に努めている。福祉施設などでの福祉体験、共生社会について考えるテーマ学習を行い、弱者等への温かな配慮、ボランティア活動等の大切さに気づかせる授業を展開している。



ALTの授業の様子



星野 健二議員



がん教育の推進について

問 がん教育の授業を行う教員は、がん教育を行うに当たって、どのような講習を受けたのか。

答 教育長 がんの教育総合支援事業というのを国が先駆けて、先行研究をしてきており、今年度から全国展開をする。平成28年度初めに、がん教育推進のための教材、外部講師を招いての授業のあり方のガイドライン、また県からの資料などを用いて、各学校において、校内における研修を充実させている段階である。国からのより具体的な指針等が示されており、今後しっかりと将来を見据えた指導計画を作成する作業に入っていく。

問 今後、専門の外部の講師を呼んで、がん教育を行っていく考えはあるか。

答 教育長 がんに限らず、専門家に学校の外部講師として入っていただき、授業の中で活用していきたい。

放課後学習支援について

問 放課後学習教室における学習支援は、学ぶ意欲がある子どもに対して放課後の学校を活用し、学習意欲や学力の向上、または生活習慣の改善などさまざまな効果があると期待をされるが、教育長の所感を伺う。

答 教育長 子どもたちをみんなで育てていくことはとても大切だと思っている。今後、地域学校協働本部の活動の中で子どもたちの受け皿の一つとして支援が出来てくればと願っている。



高久 好一議員



国保も介護も安心して使える市へ

問 来年度から施行される国保の都道府県化に向け、県と市町による協議が行われている。いくつかの道府県はすでに保険料率が示され、住民の支払う保険料の試算額が示されている。本市の保険料の市民への公表はいつ頃になるか。

答 保健福祉部長 本市の保険料は、平成30年1月に予定されている納付金の確定に基づき算定をし、改正の必要性が生じた場合は、平成30年3月議会へ条例の改正案を提出及び市民への周知を行っていきたく考えている。

問 公表された道府県の保険料が高額となり、不評であったため、激変緩和が行われ、引き上げ幅は縮小されるとしているが、仮に県が示す保険料が現行より高額の場合、市はどのように対応を考えているか。

答 保健福祉部長 今後は納付金の確定に向けて県や関係部署との協議を重ねながら、市民の大きな負担増にならないよう保険料の検討に努めたい。

問 要介護の比較的軽いと言われる「要支援1,2」が市町村の「介護予防・日常支援総合事業(以下「総合事業」という)」に移行した。全国の自治体アンケートでは、市町の多くが「運営に苦慮」していると報道されているが、本市の現況を聞かせて欲しい。

答 市長 総合事業は、介護サービス事業者、雇用労働者、ボランティア等の多様な担い手による、地域の実情に応じた多様なサービスの提供が求められている。本市は現在、介護サービスの事業者のみが総合事業の担い手となっており、新たな担い手の確保が課題となっている。



松田 寛人議員



人口流出を食い止めるために

問 都市部への人口一極集中が叫ばれているが、日本の人口は2015年に初めて減少に転じている。一方で東京を初めとする首都圏への人口一極集中傾向は近年変わらず続いていることが明らかである。地方から都心への人口流出を食い止めるために各地方がいろいろ対策を考えている状況であるが、本市の今後の具体的な取り組みを伺う。

答 企画部長 地方から都市への人口流出を食い止めるための対策として、今後の具体的な取り組みについて、本市では、これまで那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、定住促進に取り組んでいるところであり、今後においても、市内立地企業への支援、出会いから結婚までの支援、小中一貫教育の充実、戦略的なシティプロモーションの推進など総合戦略の重点施策の着実な推進により、人口流出を食い止めるとともに定住促進に取り組んでいく。

PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)公民連携について

問 今後の社会資本整備について民間資金の投資を促し活用する考えがあるか伺う。

答 市長 社会資本整備を進めるに当たっては、PPPの考え方にに基づき、民間資金の活用を検討することは十分に意義があることから、民間企業にとって資金提供のメリットを感じられるようなケースが生じた場合には、その手法も十分に吟味しながら民間資金の活用を考えていく。



那須塩原市  
◆◆◆ まち・ひと・しごと創生 ◆◆◆  
総合戦略



櫻田 貴久議員



観光行政について

問 プレDCにおける本市の取り組みの効果と課題について伺う。

答 産業観光部長 観光局が中心となり「いちごとみるくフェア」や「朝食イッピン物語」を展開したことで、DC後も継続可能な地域商品のベースづくりができたことや、飲食店、農業団体等との連携が図られたことなどの成果があったと考えている。さらに多くの関係者の理解を得て、また巻き込んでいく、そして深化させていくことが、今後の課題であり、目指すべきところである。

問 本市には観光に対してのマスタープランがない。この機会に観光のマスタープランを策定してみてもどうか。

答 産業観光部長 第2次那須塩原市総合計画において中長期的な方向性は示しているが、その部門計画としての観光に特化した計画がないという現状であり、必要であると認識している。その計画をつくるに当たっては、長期的・戦略的なビジョンや、観光関係者を初めとする多くの方との認識の共有が必要であろうと考える。今後、連携しながら、部門計画としての観光計画に取り組んでいきたい。

栃木県のプロスポーツチームの支援について

問 プロスポーツチームの支援等については、どこが部署が責任を持って行うのか。

答 市長 スポーツ振興課が中心となると考えているが、シティプロモーション課と連携しながら、今後取り組んでいく予定である。



市議会レポート①

栃木県市議会議長会表彰

中村芳隆議員、鈴木紀前議員に、栃木県市議会議長会から会務運営の功績に対し、感謝状が贈られました。



中村 芳隆 議員



鈴木 紀 前議員

市議会レポート②

君島議長がオーストリアを訪問

9月14日から20日までの7日間、君島市長を含む総勢14名でオーストリア共和国を訪問しました。

訪問の目的は、本市と姉妹都市であるリンツ市との今後の友好親善、さまざまな分野での交流と協力に向けての関係の構築および意見交換を行うことです。訪問中は、東京オリンピック競技大会の事前キャンプに関するオリンピック委員会およびトライアスロン連合との協定締結にも立ち会いました。



ルーガー市長（前列中央）と訪問団

市議会レポート③

審査報告書を議長に提出

10月19日、議員の資産と税の納付状況に記載した資産等報告書に関する審査報告書を君島議長に提出しました。

2回の審査を経て、資産報告内容は適正に記載され、証明書類と符合していることを報告しました。

この資産等報告書は、公開されていますので、議会事務局で閲覧することができます。



審査報告書を君島議長（左端）に提出

市議会レポート④

ひたちなか市議会議員が訪問

8月7・8日、本市と姉妹都市である、ひたちなか市から議員団が来訪されました。

市内の観光施設を訪れたほか、研修会では、本市の観光の取り組みの説明を受けた後、両市の議会活動について意見交換をしました。

また、交流会では両市議会議員が参加し、情報交換を行い交流を深めました。



ひたちなか市議会議員

開かれた議会を目指すため

議会報告会・意見交換会を開催します

第1部 議会報告 ●定例会・臨時会報告  
●放射能対策検討特別委員会報告

第2部 意見交換会 みんなで語ろう！！

意見交換①  
全会場共通テーマ

- ・数字からみる協働のまち
- ・子どもの未来のために
- ・空き家等の対策について

意見交換② 各会場テーマ、その他



昨年の議会報告会の様子

開催日	開催時間	開催場所	テーマ
11月13日(月)	午後1時30分～3時30分	塩原公民館	なんとかすっぺ！塩原温泉 ～女性の目線で考える塩原温泉～
11月14日(火)	午後2時～4時	狩野公民館	地域の子どものために今、何ができるか
	午後6時～8時	三島公民館	三島の課題おしえてっ！ ～空き家の動向を伺います～
	午後7時～9時	稲村公民館	地域の子どものために今、何ができるか
	午後7時～9時	西那須野公民館	集え！！西那須人
11月20日(月)	午後7時～9時	厚崎公民館	集え！！厚崎人

# Future

～わたしの夢～ No.1

西那須野中学校 1年

ひょうどう

ともりの

## 俵藤 知憲さん

### 将来の夢はプロ野球選手

僕の夢は、プロ野球に入りその後、メジャーリーグに行くことです。そのため、祖父が張ってくれたネットでバッティング練習をしています。素振りは1日最低でも100回はやるようにしています。現在、硬式野球チームの大田原ボーイズで内野を守っています。体力に自信がないので、走る練習が一番大変ですが、時間を見つけて走るようにしたいと思います。小さいころはイチロー選手に憧れていましたが、今年の夏の甲子園で活躍した広陵高校の中村奨成選手のように長距離砲が打てる選手になりたいです。栃木県出身のプロ野球選手は少ないのでプロになれるよう努力を続けます。



ぎかいのひととき  
No.71

### 議会カレンダー (11月)

9 木	13:30～議員全員協議会(議場)
10 金	
11 土	
12 日	
13 月	13:30～議会報告会(塩原公民館) 14:00～議会報告会(狩野公民館) 18:00～議会報告会(三島公民館)
14 火	19:00～議会報告会(稲村公民館) 19:00～議会報告会(西那須野公民館) 請願・陳情提出締切日(12月定例会)
15 水	10:00～宮城県大崎市視察(議会関係) 13:30～秋田県鹿角市視察(議会関係)
16 木	13:30～宮城県登米市視察(議会関係)
17 金	
18 土	
19 日	12:00～消防団通常点検(くろいそ運動場)
20 月	19:00～議会報告会(厚崎公民館)
21 火	
22 水	
23 木	
24 金	9:30～議場コンサート 10:00～12月定例会開会

8～10月、他市町からの視察(議会関係)件数は2件でした。

### 第9回議場コンサート



高山 直敏氏



塩満 友紀氏

日時 平成29年11月24日(金) 9:30～  
場所 市役所4階議場  
演奏者 高山直敏氏(南米民族楽器演奏家)  
塩満友紀氏(アルパ奏者)  
演奏曲目 荷車の下で  
グノーのアヴェ・マリア  
アスンシオに咲く花  
牛乳列車

### 編集後記

今号より、議会だよりがリニューアルされました。タイトルは「ぎかいのひととき」!!このタイトルやロゴのデザインについては、編集委員会で何度も協議を重ね、仕事や家事の時間が空いた時にでも、お茶を飲みながら、読んでいただきたいとの願いと、読む人がホッとできるような紙面構成にしていきたいとの思いから、出来上がったものです。その他、紙面の読みやすさや、新たに取り入れた「市民の方々のもとへ出向いて行うインタビュー」を記事にするなど、議会をより身近に感じていただけるような工夫をしております。これからも市民の皆様手に取って、読んで頂けるような議会広報紙になるように編集委員会一丸となり、取り組んでまいりますので是非お読みになって下されば幸いです。

市議会の詳しい情報は、那須塩原市議会のホームページをご覧ください。

那須塩原市議会

検索

那須塩原市議会だより  
平成29年11月5日発行

発行/那須塩原市議会 編集/議会だより編集委員会  
〒325-8501 那須塩原市共豊社108番地2  
Tel.0287(62)7181 Fax0287(62)5378